

## 第15回 宮崎県新型コロナウイルス感染症対策協議会

日時：令和3年9月28日（火）

午後7時から午後8時まで

場所：県庁防災庁舎4階43・44号室

### 会 次 第

1 開 会

2 知事あいさつ

3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る感染の状況について

(2) 新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応について

4 その他

5 閉 会

宮崎県新型コロナウイルス感染症対策協議会 出席者名簿

開催日：令和3年9月28日（火）

（委員）

種別	氏名	所属等
宮崎県感染症対策審議会委員	高橋 透	宮崎県市長会（日南市長）
	木佐貫 辰生	宮崎県町村会（三股町長）
	山中 篤志	県立宮崎病院部長
	岡山 昭彦	宮崎県健康づくり協会健康推進部長
	江川 千鶴子	宮崎県看護協会常務理事
	本田 憲一	宮崎県薬剤師会副会長
宮崎県医師会	濱田 政雄	宮崎県医師会副会長
	峰松 俊夫	宮崎県医師会理事
感染症指定医療機関代表	眞柴 晃一	県立宮崎病院副院長
宮崎大学病院医学部附属病院	鮫島 浩	宮崎大学医学部附属病院長
宮崎県消防長会	杉村 廣一	宮崎県消防長会長

（関係出席者）

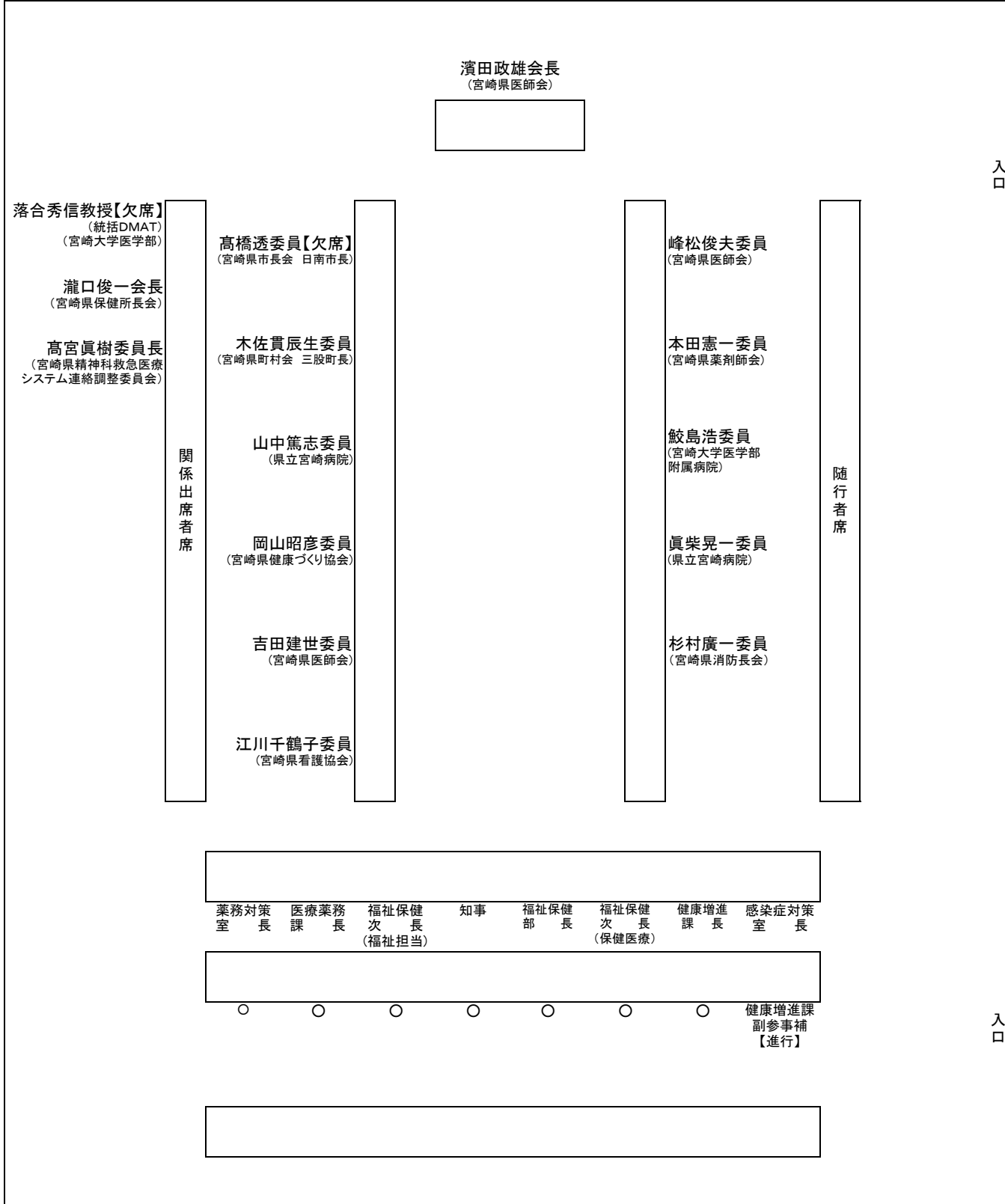
種別	氏名	所属等
宮崎県新型コロナウイルス感染症対策調整本部本部員	落合 秀信	統括 DMAT 宮崎大学医学部教授
	瀧口 俊一	宮崎県保健所長会長

# 宮崎県新型コロナウイルス感染症対策協議会

## 配席図

開催日:令和3年9月28日(火)

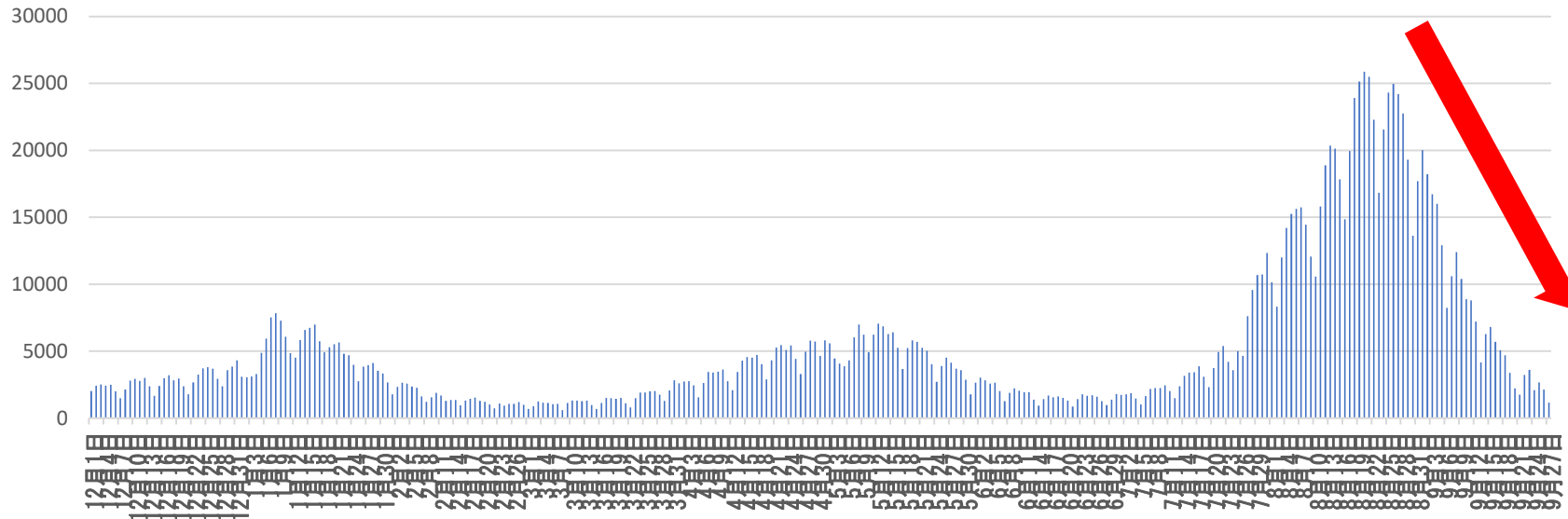
場 所:県庁防災庁舎4階43・44号室



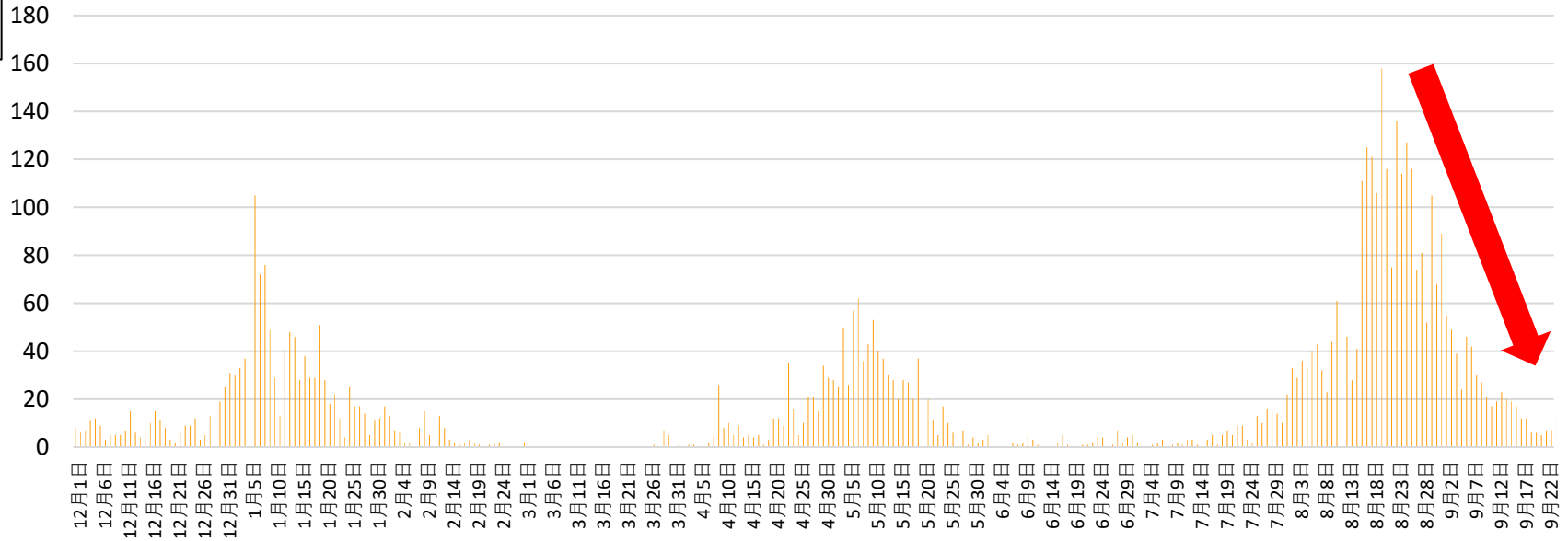
# 全国と県内の感染状況

資料 1

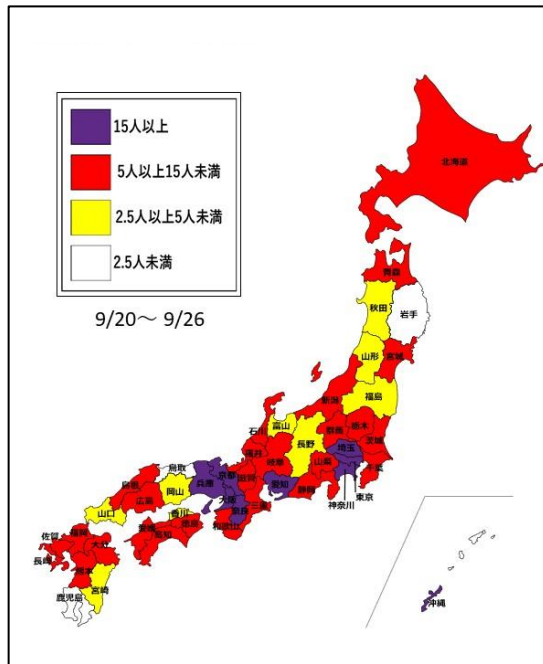
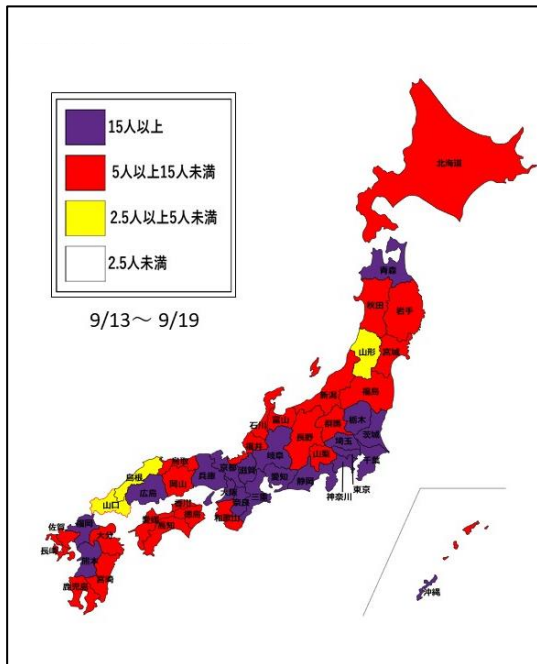
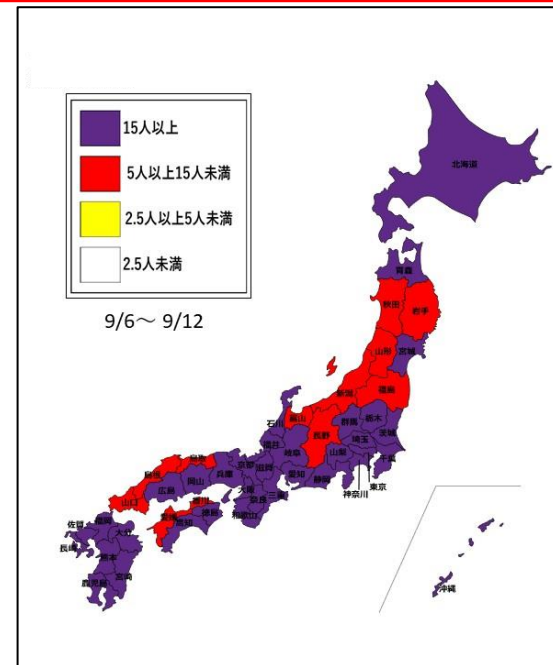
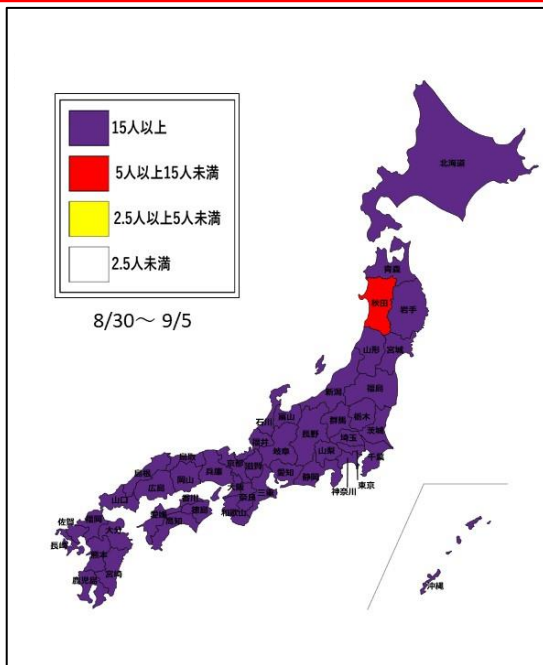
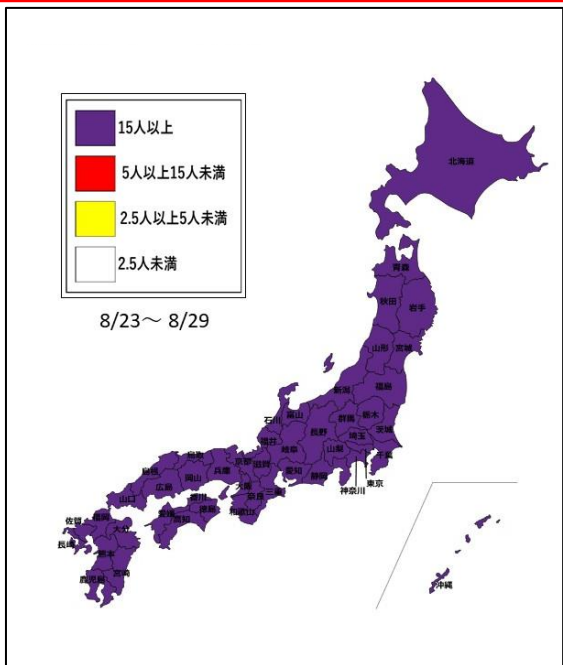
全国



宮崎県



# 全国の直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数

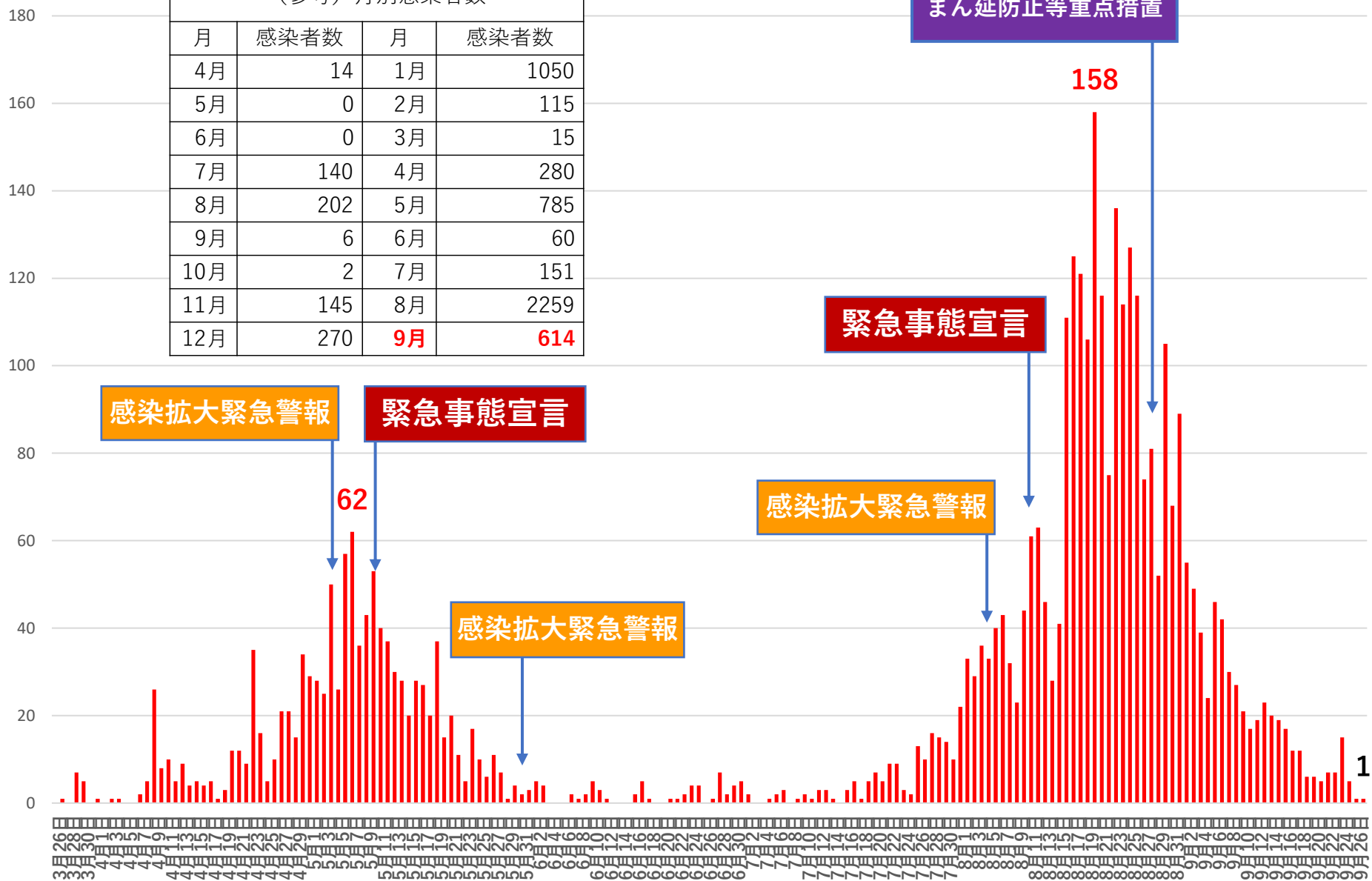


**全国的に感染者が急速に減少**

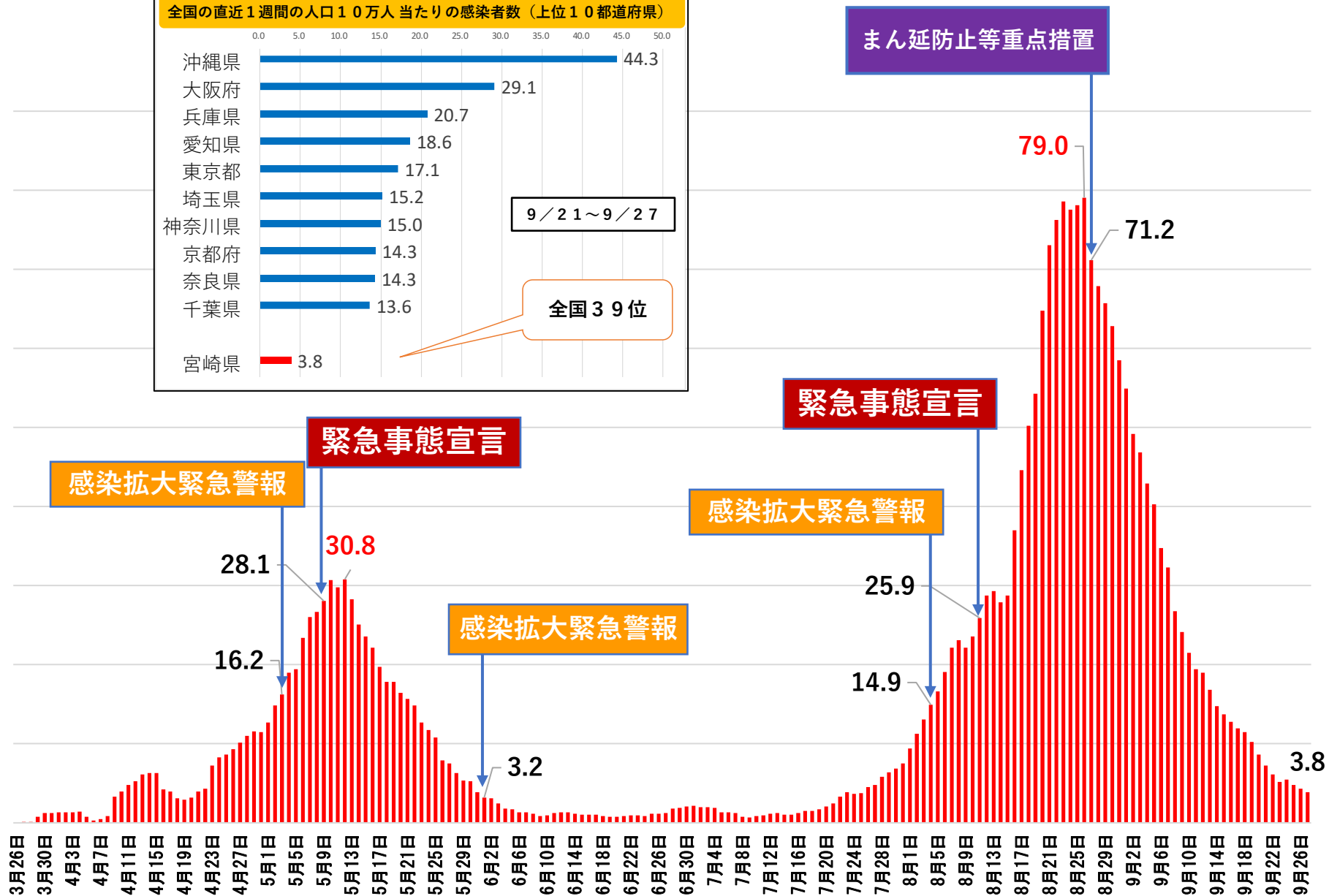
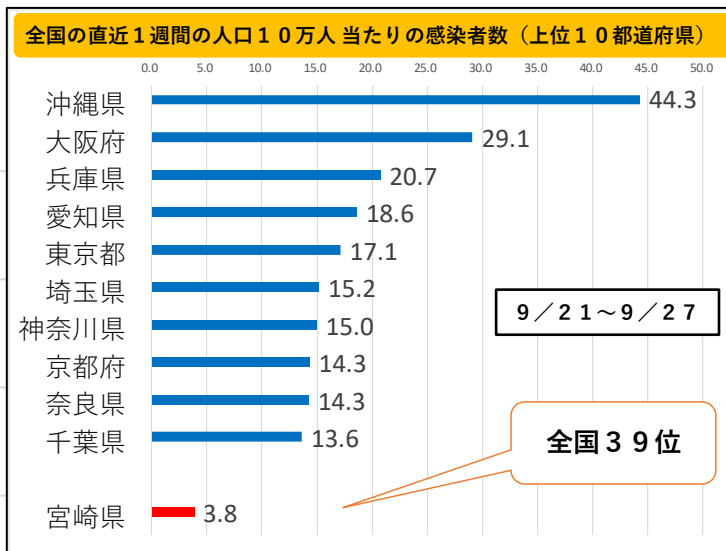
# 本県の1日当たりの新規感染者数

(参考) 月別感染者数

月	感染者数	月	感染者数
4月	14	1月	1050
5月	0	2月	115
6月	0	3月	15
7月	140	4月	280
8月	202	5月	785
9月	6	6月	60
10月	2	7月	151
11月	145	8月	2259
12月	270	9月	614



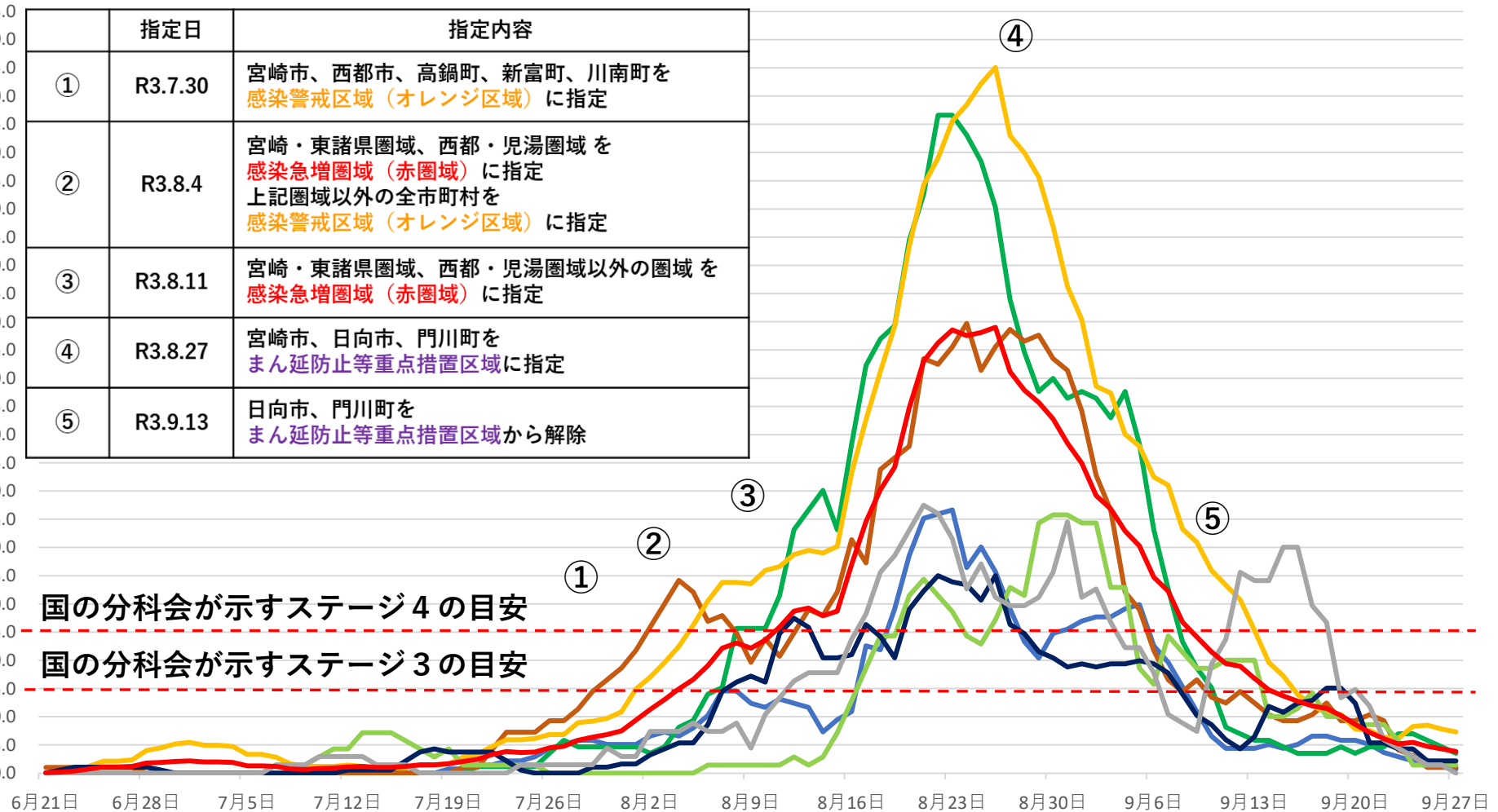
# 本県の直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数



# 各圏域の感染状況

(直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数の推移)

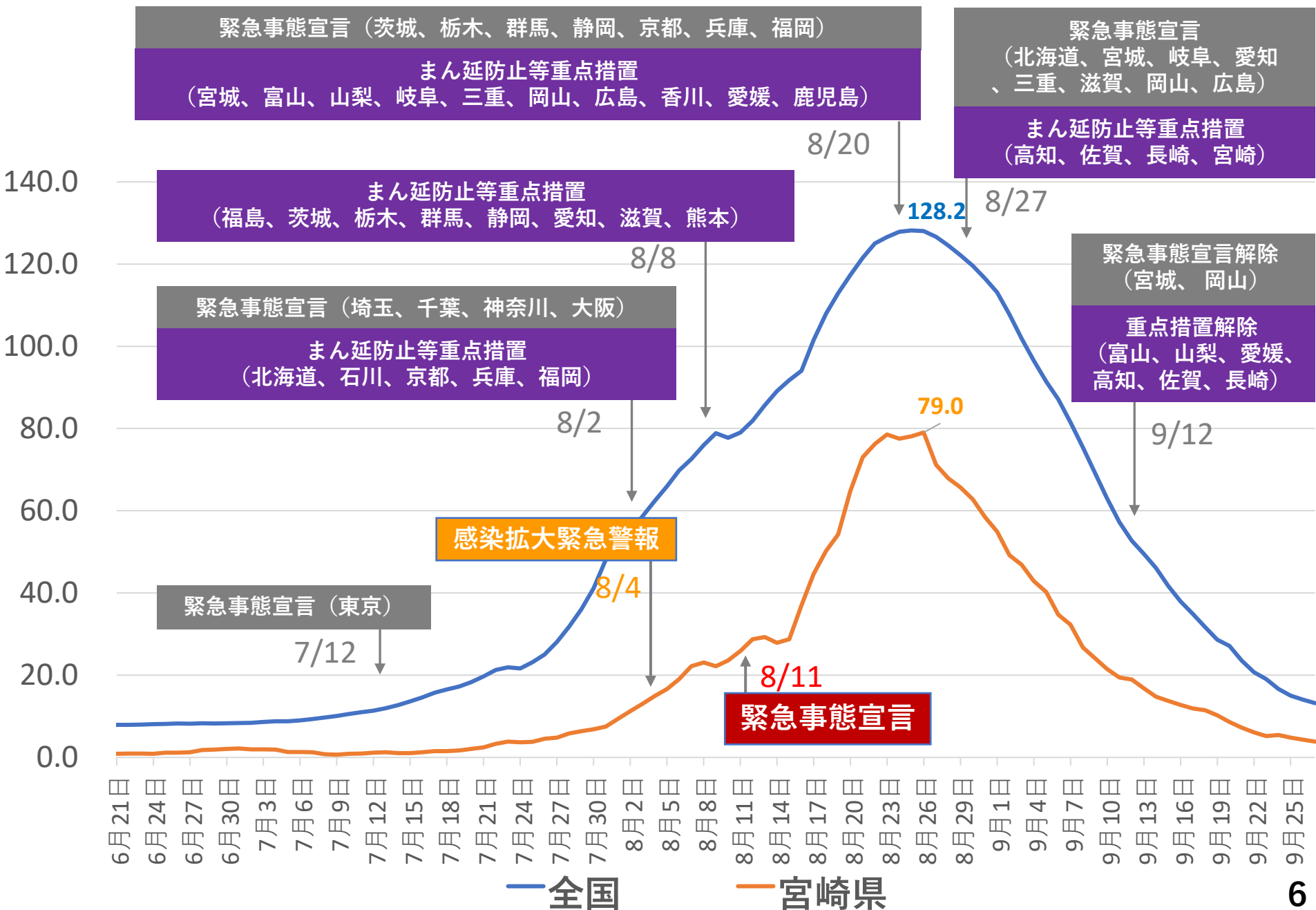
	指定日	指定内容
①	R3.7.30	宮崎市、西都市、高鍋町、新富町、川南町を 感染警戒区域（オレンジ区域）に指定
②	R3.8.4	宮崎・東諸県圏域、西都・児湯圏域を 感染急増圏域（赤圏域）に指定 上記圏域以外の全市町村を 感染警戒区域（オレンジ区域）に指定
③	R3.8.11	宮崎・東諸県圏域、西都・児湯圏域以外の圏域を 感染急増圏域（赤圏域）に指定
④	R3.8.27	宮崎市、日向市、門川町を まん延防止等重点措置区域に指定
⑤	R3.9.13	日向市、門川町を まん延防止等重点措置区域から解除



- 延岡・西臼杵圏域
- 日向・東臼杵圏域
- 西都・児湯圏域
- 宮崎・東諸県圏域
- 小林・えびの・西諸県圏域
- 都城・北諸県圏域
- 日南・串間圏域
- 県全体



# 全国と本県の状況



# 九州各県との感染状況の比較

国の緊急事態宣言

福岡

まん延防止等重点措置

福岡

福岡、熊本

熊本、  
鹿児島

熊本、鹿児島、  
佐賀、長崎、宮崎

熊本、鹿児島、  
宮崎

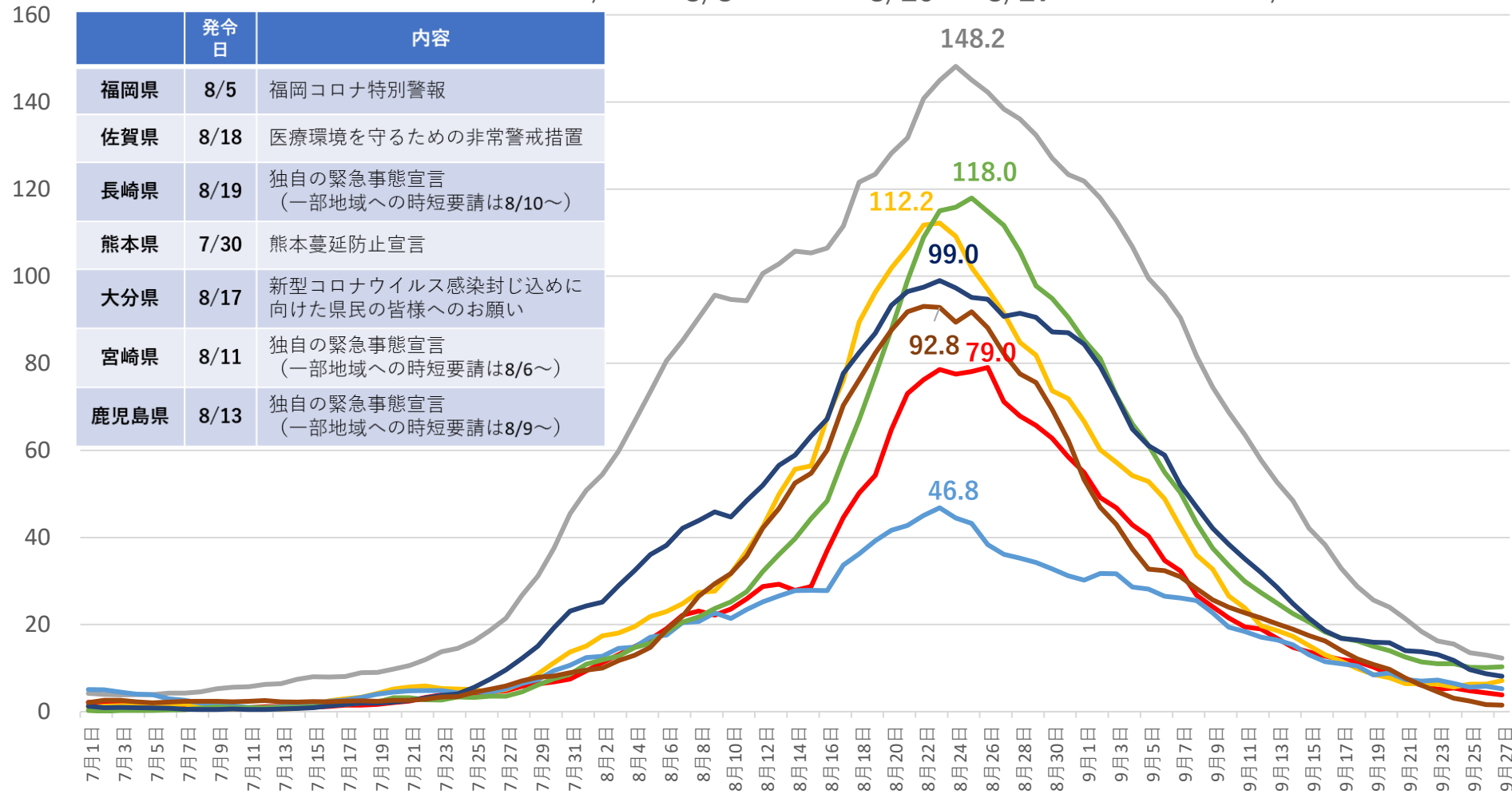
8/2

8/8

8/20

8/27

9/12



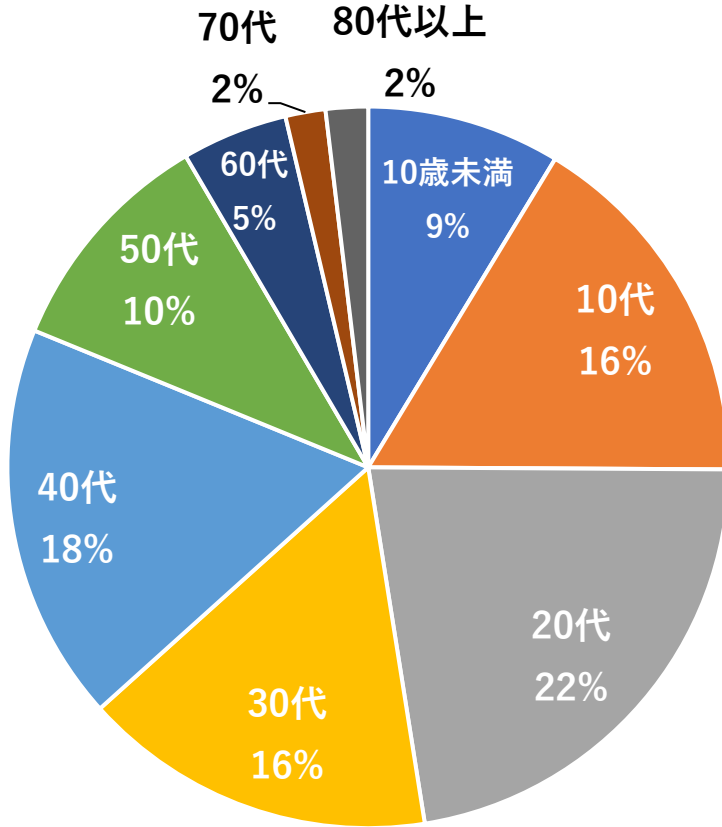
# 第5波の感染状況の概要（第3、4波との比較）

	第3波	第4波	第5波
期間	113日(11/15～3/7)	86日(3/27～6/20)	99日(6/21～9/27)
総感染者数	1,576人	1,112人	3,050人
1日当たりの新規感染者数（最大）	105人(1/6)	62人(5/7)	158人(8/20)
直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数（最大）	42.4人(1/9)	30.8人(5/12)	79.0人(8/26)
直近1週間の人口10万人当たりの全療養者数（最大）	50.3人(1/10)	45.0人(5/12)	115.7人(8/27)
クラスターの発生数	22件	25件	48件
死者数（致死率）	21人(1.3%)	5人(0.4%)	14人(0.5%)
重症者数（重症者率）	24人(1.5%)	20人(1.7%)	21人(0.7%)
1日当たりの入院者数（最大）	102人(1/13)	84人(5/16,17)	155人(8/30)
1日当たりの宿泊施設療養者数（最大）	118人(1/7)	116人(5/12)	194人(8/24)
1日当たりの施設（高齢者施設等）療養者数（最大）	24人(1/20～22)	32人(4/28～5/3)	10人(8/21～23)
1日当たりの自宅療養者数（最大）	258人(1/10)	221人(5/13)	800人(8/27)

※第5波の数値は9月27日時点

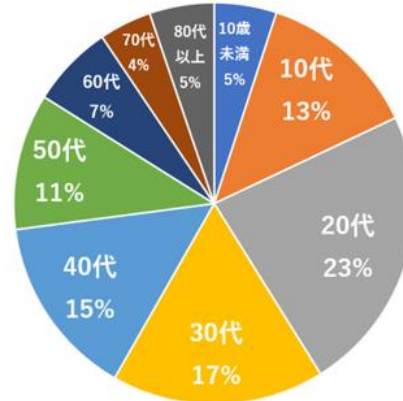
# 感染者の年代別内訳

第5波 (3050人)

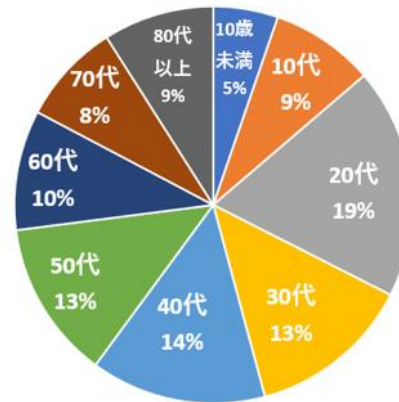


※6/21~9/27

第4波 (1112人)



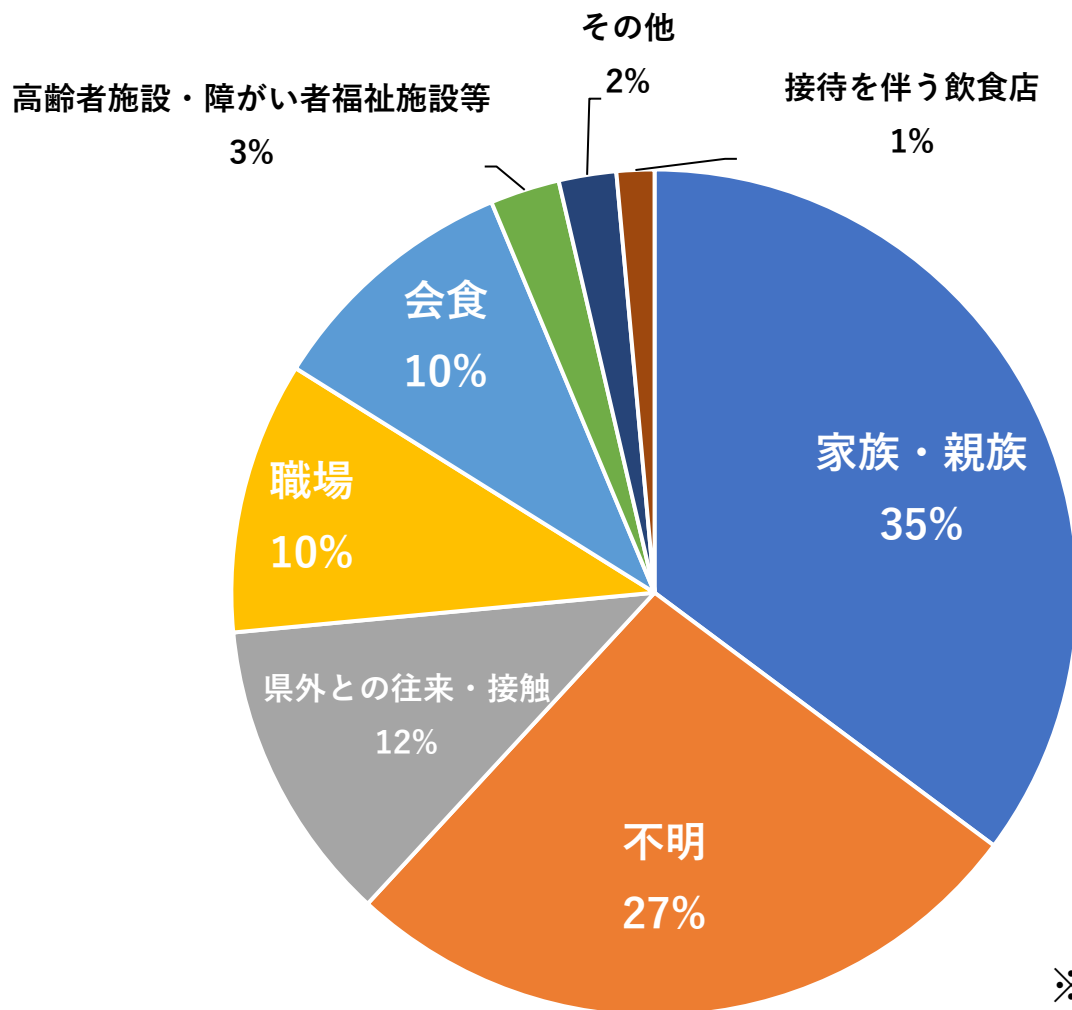
第3波 (1576人)



	第3波	第4波	第5波
10歳未満	5%	5%	9%
10代	9%	13%	16%
20代	19%	23%	22%
30代	13%	17%	16%
40代	14%	15%	18%
50代	13%	11%	10%
60代	10%	7%	5%
70代	8%	4%	2%
80代以上	9%	5%	2%

○第5波では、第4波と比較しても更に若年層の割合が高くなっており、40代までで全体の8割以上を占めている

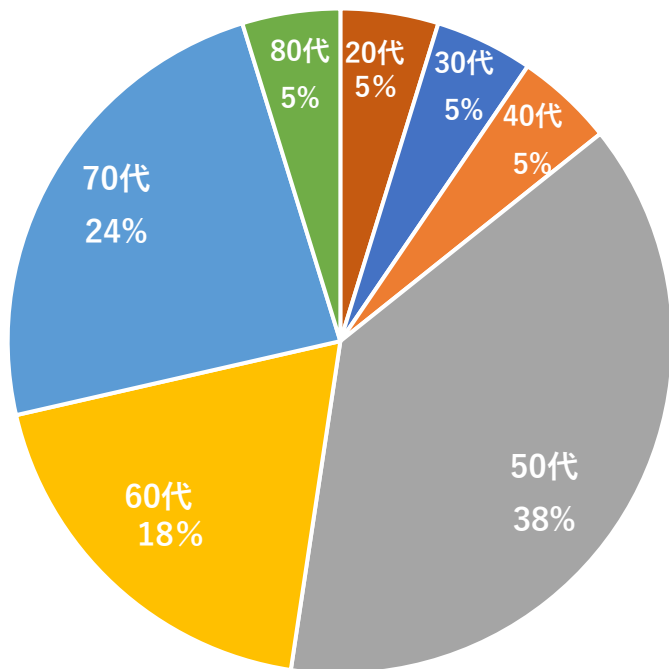
# 発生機会別の感染割合



- 家族・親族間の感染が最も多く、第5波の感染の3分の1を占めている
- 県外との往来・接触や職場等での感染が家庭に持ち込まれ、感染力の強いデルタ株の影響により、家族全員や親族に至るまで感染が拡大したケースが多数発生

# 重症者の状況

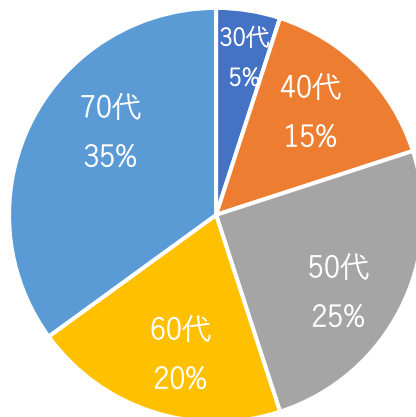
第5波（21人）



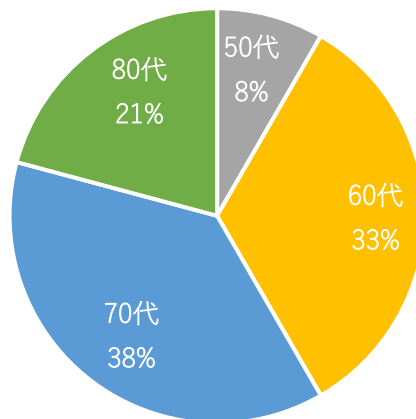
※6/21～9/28

【第5波における基礎疾患の事例】  
 高血圧(10)、糖尿病(4)、心疾患(2)など  
 ※（ ）は人数、重複あり

第4波（20人）



第3波（24人）

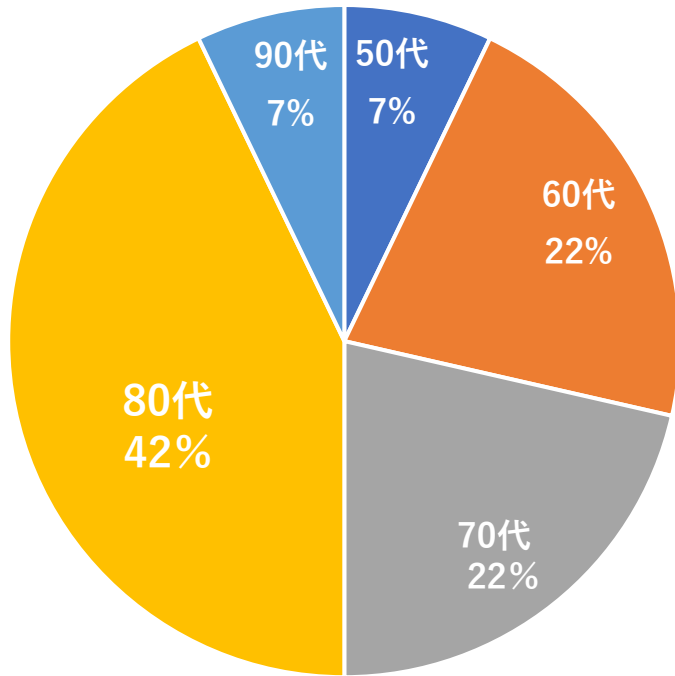


	第3波	第4波	第5波
20代	—	—	5%
30代	—	5%	5%
40代	—	15%	5%
50代	8%	25%	38%
60代	33%	20%	18%
70代	38%	35%	24%
80代以上	21%	—	5%

○第5波では、60代以上の重症者が減少する一方で、50代が増加し、20代での重症者も確認されている

# 死者の状況

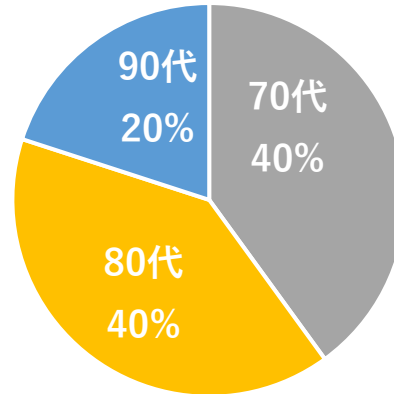
第5波（14人）



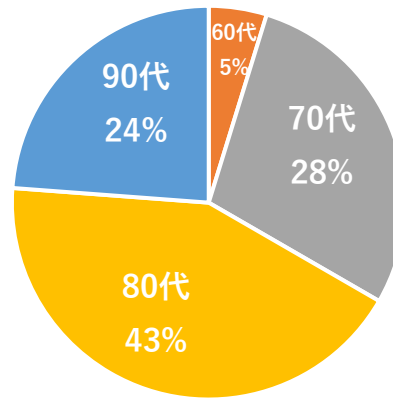
※6/21～9/27

【第5波における基礎疾患の事例】  
 高血圧(5)、心疾患(3)、呼吸器疾患(2)など  
 ※ ( ) は人数、重複あり

第4波（5人）



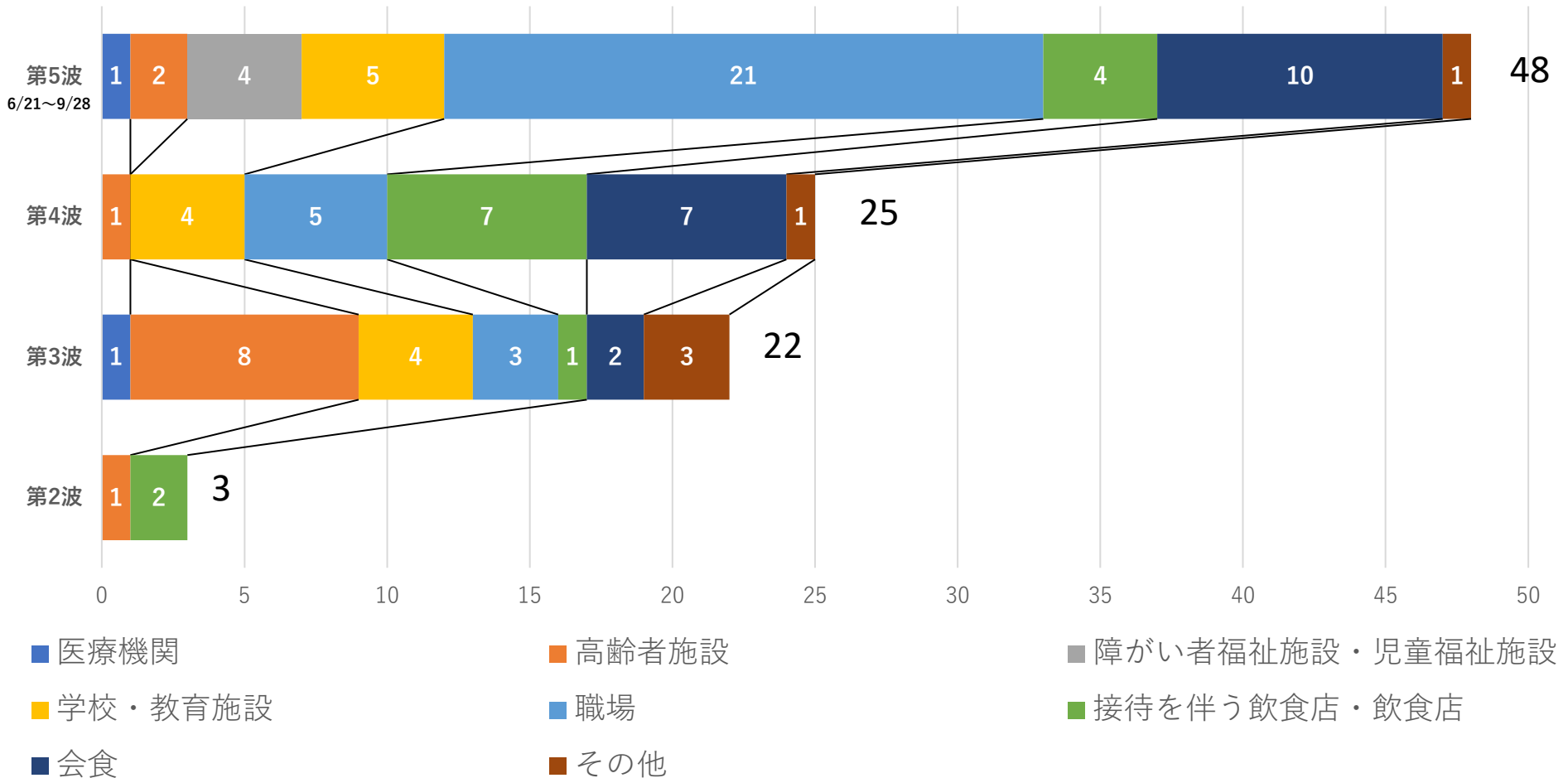
第3波（21人）



	第3波	第4波	第5波
50代	—	—	7%
60代	5%	—	22%
70代	28%	40%	22%
80代	43%	40%	42%
90代	24%	20%	7%

- 第5波では、90代以上の死者が減少する一方で、60代が増加し、50代での死者も確認されている
- 基礎疾患が確認されていない患者の死亡も確認されている

# クラスターの発生状況



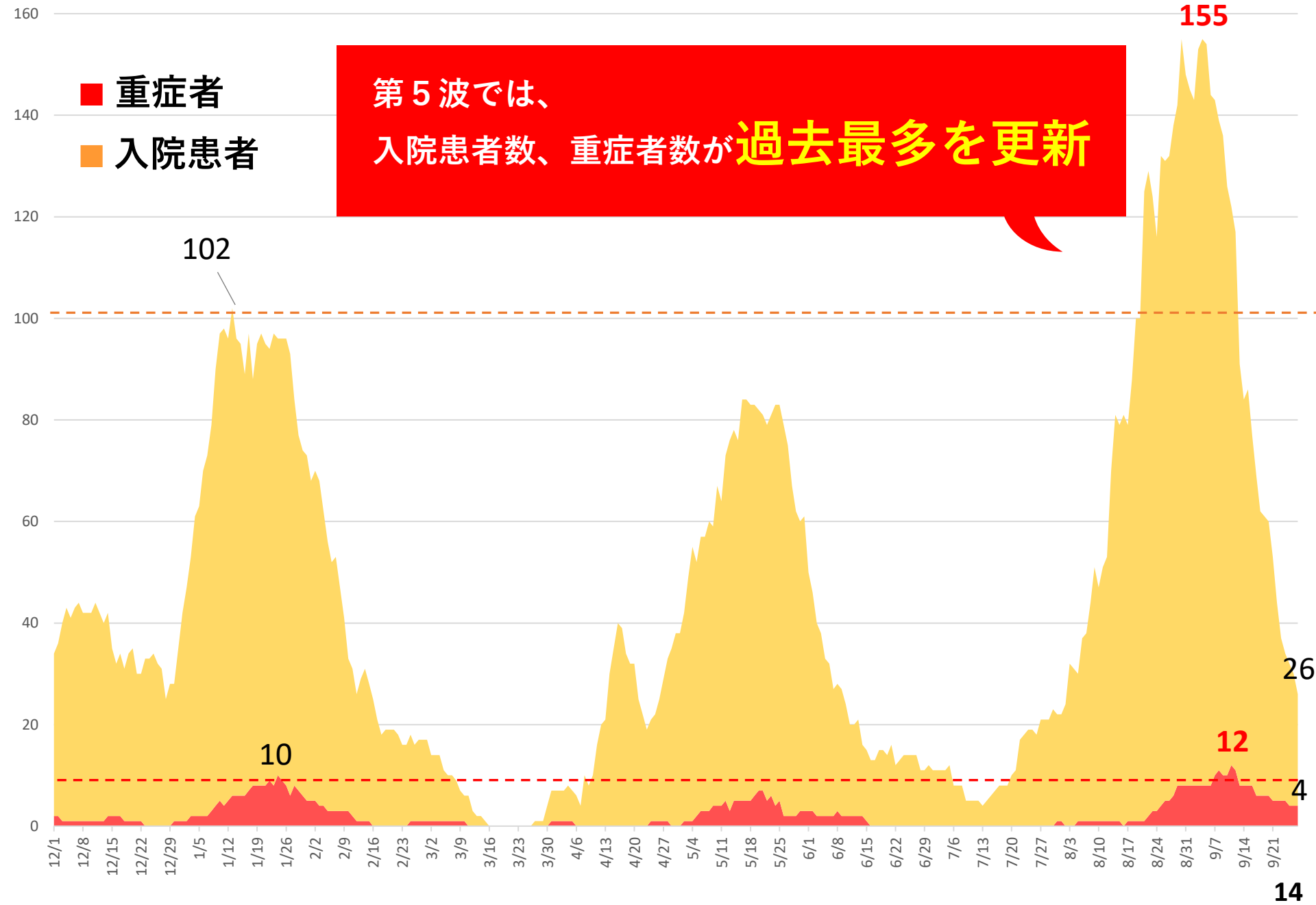
- 第5波では、第4波の約2倍のクラスターが発生し、職場でのクラスターが全体の4割以上を占めている
- 第4波と比較して、接待を伴う飲食店・飲食店での発生は少なく、高齢者施設での発生も第4波と同様に少なくなっている



# 入院患者・重症者の推移

■ 重症者  
■ 入院患者

第5波では、  
入院患者数、重症者数が**過去最多を更新**



# 医療提供体制強化の取組

## ■入院受入体制

- ・入院受入病床42床増加（285床→327床）

## ■宿泊療養体制

- ・1施設（150床）を新設（300室→450室）
- ・DMAT医師の派遣
- ・酸素濃縮器の配備
- ・外来診療受入体制の確保
- ・重症化予防センターの設置（抗体カクテル療法等を実施）

## ■自宅療養体制

- ・パルスオキシメーターの配布
- ・食料・生活用品等の支援セットの配布（5/27以降、835個を配送）
- ・医師・看護師による健康観察体制の確保  
（高千穂保健所を除く8保健所で実施、訪問看護ステーション43施設が事業に登録）
- ・外来診療受入体制の確保
- ・重症化予防センターの設置（抗体カクテル療法等を実施）

### 【入院調整の方針】

- ①重症化リスクを総合的に判断し、医師が入院が必要と判断された方は入院
- ②ただちに入院が必要でないとは判断された方は自宅療養を基本とし、健康管理の必要がある方、家庭内感染の恐れや独居で生活上の不安がある方など自宅療養ができない事情等がある方は宿泊施設療養

# 抗体カクテル療法の実施状況

■県内14医療機関において、89人に抗体カクテル療法を実施  
(9/12時点)

■県では、コロナ患者が最も多く、医療提供体制がひっ迫している県央地域の宿泊施設や自宅で療養されている方を対象として、次のとおり抗体カクテル療法を実施

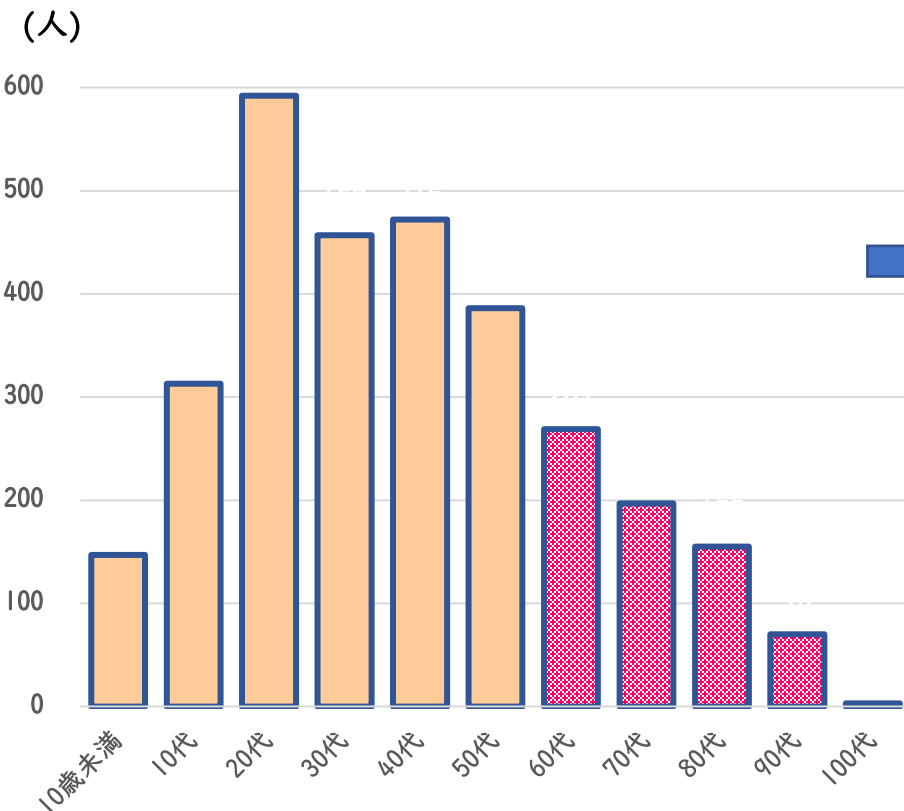
- ①宮崎大学付属病院と連携し、大学病院において実施(8/26～)
- ②臨時の医療施設である「宮崎県重症化予防センター」を設置し、県立宮崎病院から医師・看護師を派遣し、抗体カクテル療法等を実施(9/10～)



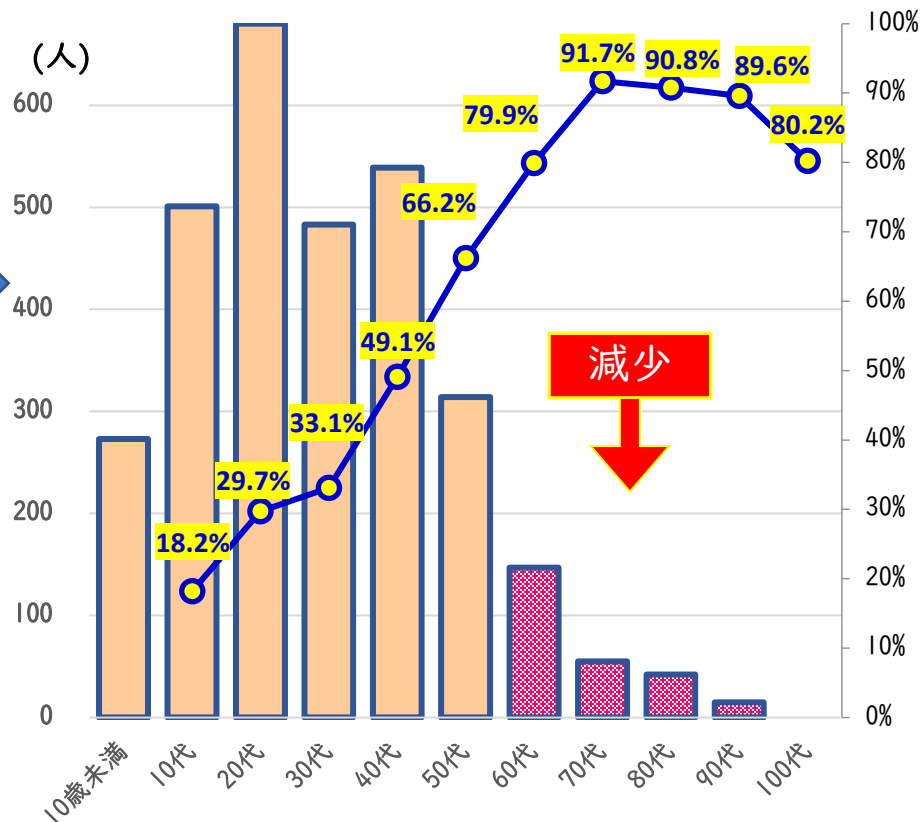
宮崎県重症化予防センター

# 年代別感染者数とコロナワクチンの接種状況

年代別感染者数（第4波まで）



第5波における感染者数と接種率（2回目）

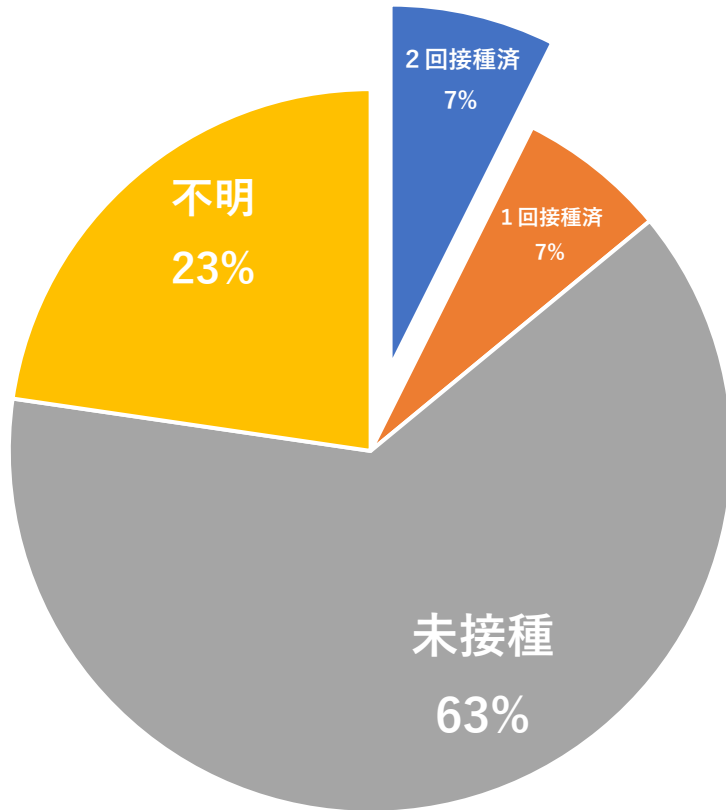


※10代の接種率については、ワクチンの対象者である12歳以上で算定している

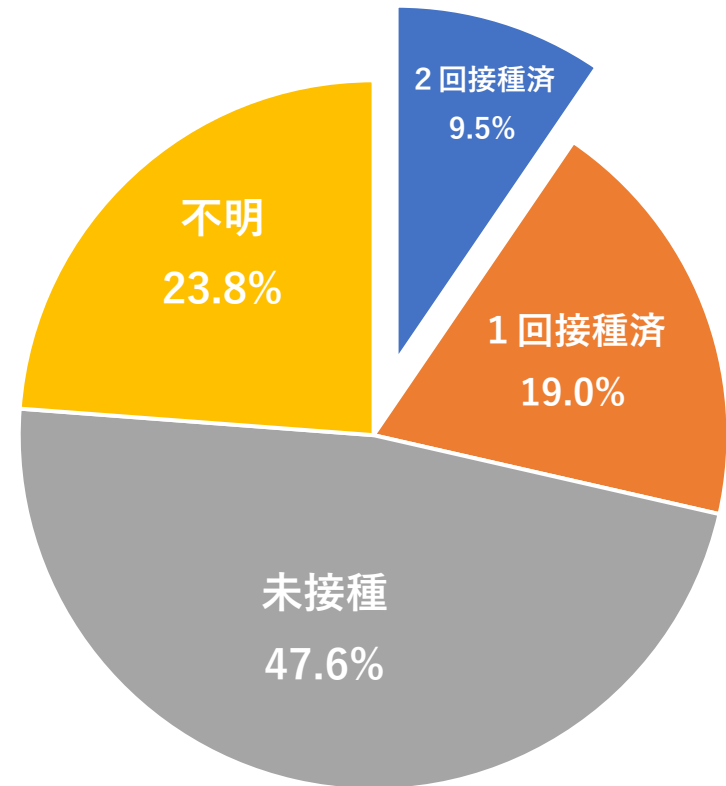
○第5波では、第4波までと比較して、ワクチン接種の進んでいる60代以上の感染者が大きく減少している。

# 感染者・重症者のワクチン接種状況

感染者全体（3,053人）



重症者（21人）



※6/21～9/28

○感染者全体及び重症者に占める2回接種の方の割合は10%以下と少なくなっている

# 国の新型コロナウイルス感染症対策分科会が示す指標における本県の状況

本県の関連指標の状況は以下のとおりであり、**ステージ2**の状況にあります。

指 標		現状値	ステージ3 の目安	ステージ4 の目安	備 考
医療提供体制等の負荷	病床全体 (確保病床の使用率)	8.0%	20%以上	50%以上	・9月27日時点
	①医療の ひっ迫具合	—	40%以下	25%以下	・9月27日時点 ・療養者数：入院者、宿泊・施設等療養者、入院・療養調整中の方等を合わせた数
	重症者用病床 (確保病床の使用率)	12.1%	20%以上	50%以上	・9月27日時点
	②療養者数 (人口10万人当たりの療養者数)	6.9人	20人以上	30人以上	・9月27日時点
感染の状況	③PCR等陽性率	2.9%	5%以上	10%以上	・9月16日から9月22日まで ・(医療機関での検査分を含む) ・陽性者数/PCR等検査件数
	④新規報告数 (直近1週間の人口10万人当たりの感染者数)	3.8人	15人以上	25人以上	・9月21日から9月27日まで
	⑤感染経路不明割合	27.6%	50%以上	50%以上	・9月18日から9月24日まで

ステージ1	感染散発段階	感染者が散発的に発生
ステージ2	感染漸増段階	感染者が徐々に増加 医療提供体制への負荷が蓄積
ステージ3	感染急増段階	感染者数が急増 医療提供体制に支障
ステージ4	感染爆発段階	爆発的な感染拡大が起き 医療提供体制が機能不全に

※ 入院率の指標は人口10万人当たりの療養者数が10人以上の場合に適用  
 ※ 入院が必要な陽性者が発生届の翌日までに入院している場合は適用しない

# 現在の入院等の状況

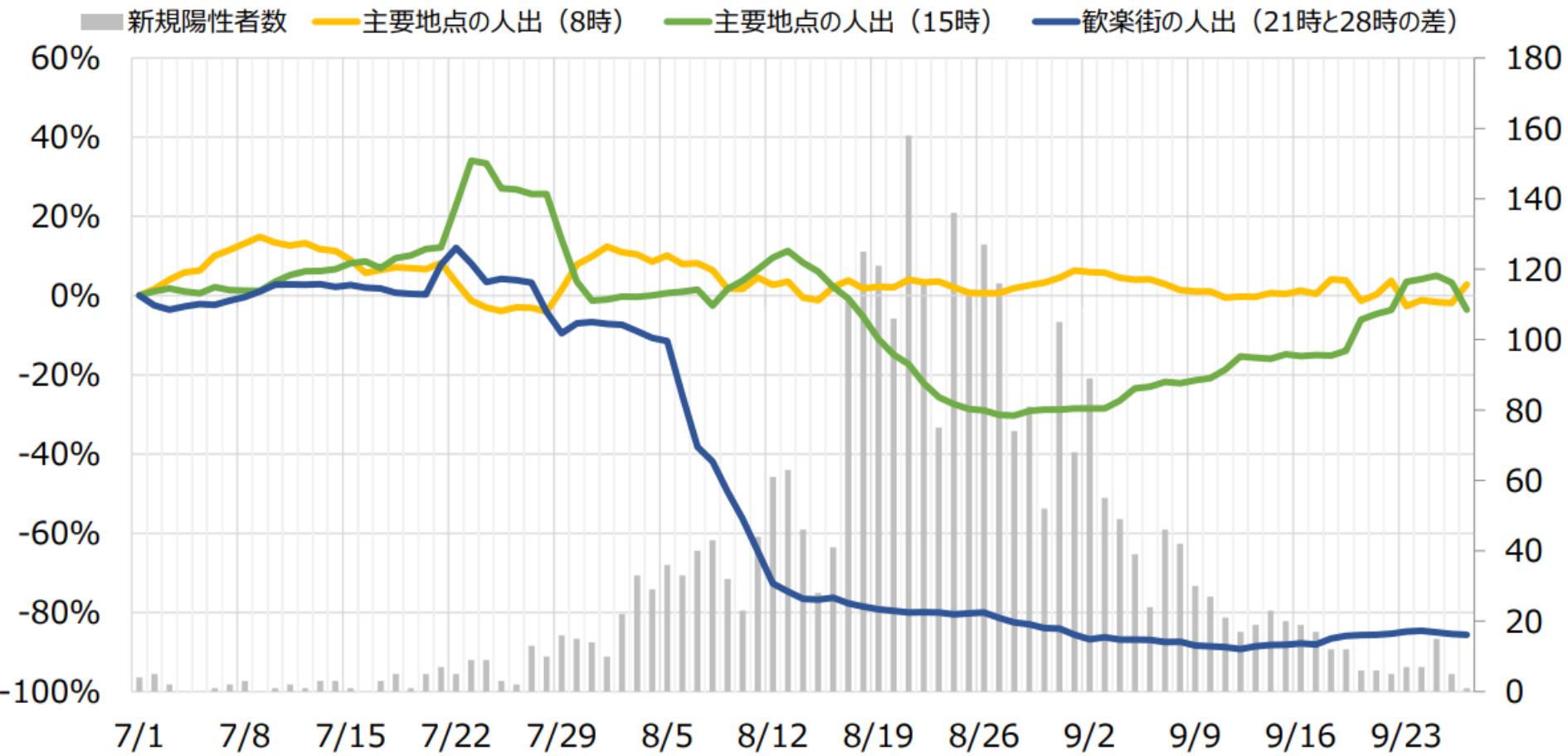
9月27日時点

		指定	協力	計	備考
入院中（病床数327）				26	うち重症者4名
圏域 毎の 内訳	宮崎東諸県（指7、協117）	3	9	12	
	日南串間（指4、協6）	0	0	0	
	都城北諸県（指4、協62）	4	1	5	
	西諸（指4、協16）	0	0	0	
	西都児湯（指4、協13）	0	0	0	
	日向入郷（指4、協22）	4	0	4	
	延岡西臼杵（指4、協60）	1	4	5	
宿泊・施設等療養中				45	うち自宅療養35名
入院・療養調整中				2	
退院済/療養終了				6036	うち死亡41名
県外への移管				16	
合計				6125	県外発表分14名含む・再陽性者1名を含む

# 繁華街等の人出の推移（7月1日比、9月28日時点）

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室提供資料

## 宮崎県の主要地点、歓楽街の人出（7月1日比、9月28日時点）



直近( 9月27日 )増減率	8時	3%	15時	-4%	21時	-86%
----------------	----	----	-----	-----	-----	------

(主要地点：新別府町周辺、歓楽街：宮崎西橋通り)



# 感染状況等の分析（まとめ）

- ① 県独自の「緊急事態宣言」の発令や国の「まん延防止等重点措置」の適用に伴い、人流が大幅に減少したこと等により、新規感染者は大きく減少し、医療提供体制への負荷も軽減され、県内の感染状況は、ステージ2の段階まで改善
- ② しかし、県内では引き続き宮崎市を中心に新規感染者が確認されるとともに、全国的にも、十分に沈静化している状況には至っていない。また、今後、シルバーウィークの連休の影響が現れてくる可能性にも留意が必要
- ③ 県民の日常生活や地域経済への影響を考慮しつつ、感染再拡大を防ぐため、10月1日以降は、段階的な行動制限の緩和を図りつつ、一定の行動制限を要請し、感染防止対策を徹底していくことが必要

# 「感染拡大緊急警報」

## を発令！

### 1 発令日

**10月1日(金)**

レベル4「緊急事態宣言」からレベル3「感染拡大緊急警報」に移行し、高い警戒レベルは維持

### 2 発令期間

**10月1日(金)～10月10日(日)を目途**

感染状況を踏まえ、10月11日(月)以降は、レベル2「特別警報」への移行

# 「感染拡大緊急警報」の考え方

感染の状況

これまで



**感染が急拡大している緊急警報**

10/1以降



**感染が再び拡大しかねない緊急警報**

- ・県内外に感染の火種が残されており、引き続き強い警戒が必要

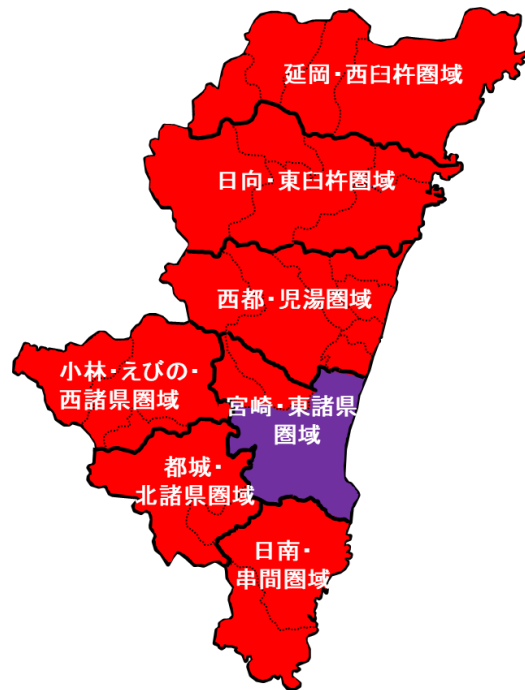
# 感染状況の区分について

- 宮崎市を感染警戒区域（オレンジ区域）に指定
- その他の圏域・市町村は感染状況に応じた区分に変更

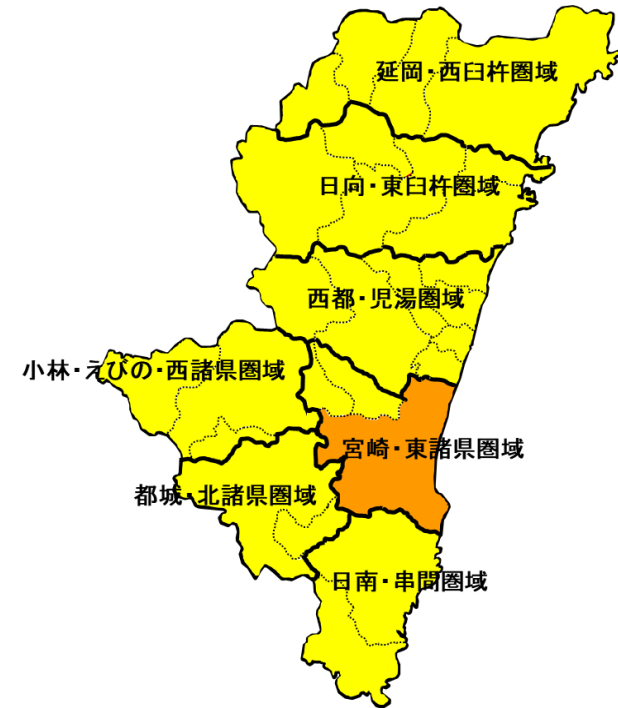
## 【指定期間】

10月1日（金）～10月10日（日）を目途

※終期は、感染状況を見極めて判断



9月30日まで



10月1日以降

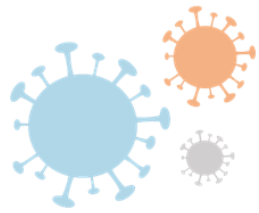
圏域ごとの感染状況の区分	
区分	一例（以下を目安として、総合的に判断）
緑	<b>感染未確認圏域</b> ・新たな感染者が確認されていない ・感染者が入院又は療養した日の翌日から起算して14日間を経過している
黄	<b>感染確認圏域</b> ・新規感染者が一定に収まっている
オレンジ	<b>感染警戒区域（※）</b> ・新規感染者の急増や、感染経路不明の例続発、感染者集団（クラスター）の続発などにより、国基準ステージ3相当又はそのおそれがある
赤	<b>感染急増圏域</b> ・新規感染者の急増や、感染経路不明の例続発、感染者集団（クラスター）の続発などにより、国基準ステージ4相当又はそのおそれがある

# 行動要請について

内容	感染警戒区域（オレンジ区域）	その他の圏域（黄圏域・緑圏域）
対象地域	宮崎市	宮崎市以外の地域
要請期間	10月1日(金)～10月10日(日)	10月1日(金)～
会食の制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4人以下、2時間以内</li> <li>○ひなた飲食店認証制度認証店の利用の推奨</li> <li>○高齢者、基礎疾患がある方、高齢者施設・障がい者施設・医療機関従事者の皆様は、家族などいつも一緒にいる身近な人と</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大人数、長時間は控えて</li> <li>○ひなた飲食店認証制度認証店の利用の推奨</li> <li>○高齢者、基礎疾患がある方、高齢者施設・障がい者施設・医療機関従事者の皆様は、家族などいつも一緒にいる身近な人と</li> </ul>
イベントの開催制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>○以下を同時に満たす人数規模に制限                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・収容率：大声あり50%以内、 大声なし100%以内</li> <li>・人数上限：5000人又は収容定員50%以内（ただし、10,000人を上限）のいずれか大きい方</li> </ul> </li> <li>○会食等の場面の制限</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○以下を同時に満たす人数規模に制限                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・収容率：大声あり50%以内、 大声なし100%以内</li> <li>・人数上限：5000人又は収容定員50%以内（ただし、10,000人を上限）のいずれか大きい方</li> </ul> </li> </ul>
高齢者施設・障がい者施設の面会	○対面での面会制限	○対面での面会は、感染対策を徹底の上、人数・時間を最小限で
県外との往来	○原則、全都道府県との往来自粛	
県外からの来県	○原則、全都道府県からの来県自粛	

# 本県の検査体制について

従来の検査体制



新型コロナが疑われる患者の検体



通常のPCR検査

陽性

陰性



変異株PCR検査

陽性

陰性

変異株疑い



遺伝子データの抽出



データ解析

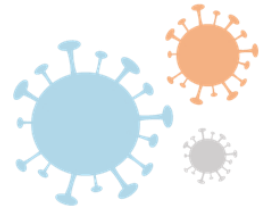
変異株確定

国立感染症研究所

県衛生環境研究所



現在の検査体制



新型コロナが疑われる患者の検体



通常のPCR検査

陽性

陰性



遺伝子データの抽出



データ解析

変異株確定

県衛生環境研究所

新たに検査機器を整備し、データの解析までを県衛生環境研究所で実施可能となることで、新たな変異株の早期探知が可能に

## ■医療提供体制の強化

- ・入院受入病床を新たに5床追加（327床→332床）

圏域	宮崎 東諸県	都城 北諸県	延岡 西臼杵	西諸	西都 児湯	日向 入郷	日南 串間	計
変更前	124	66	64	20	17	26	10	327
変更後	124	66	64	24	17	27	10	332

## ■感染防止対策の強化

- ・飲食店第三者認証制度の推進
- ・宮崎空港等にPCR検査センターを開設

## ■ワクチン接種の促進

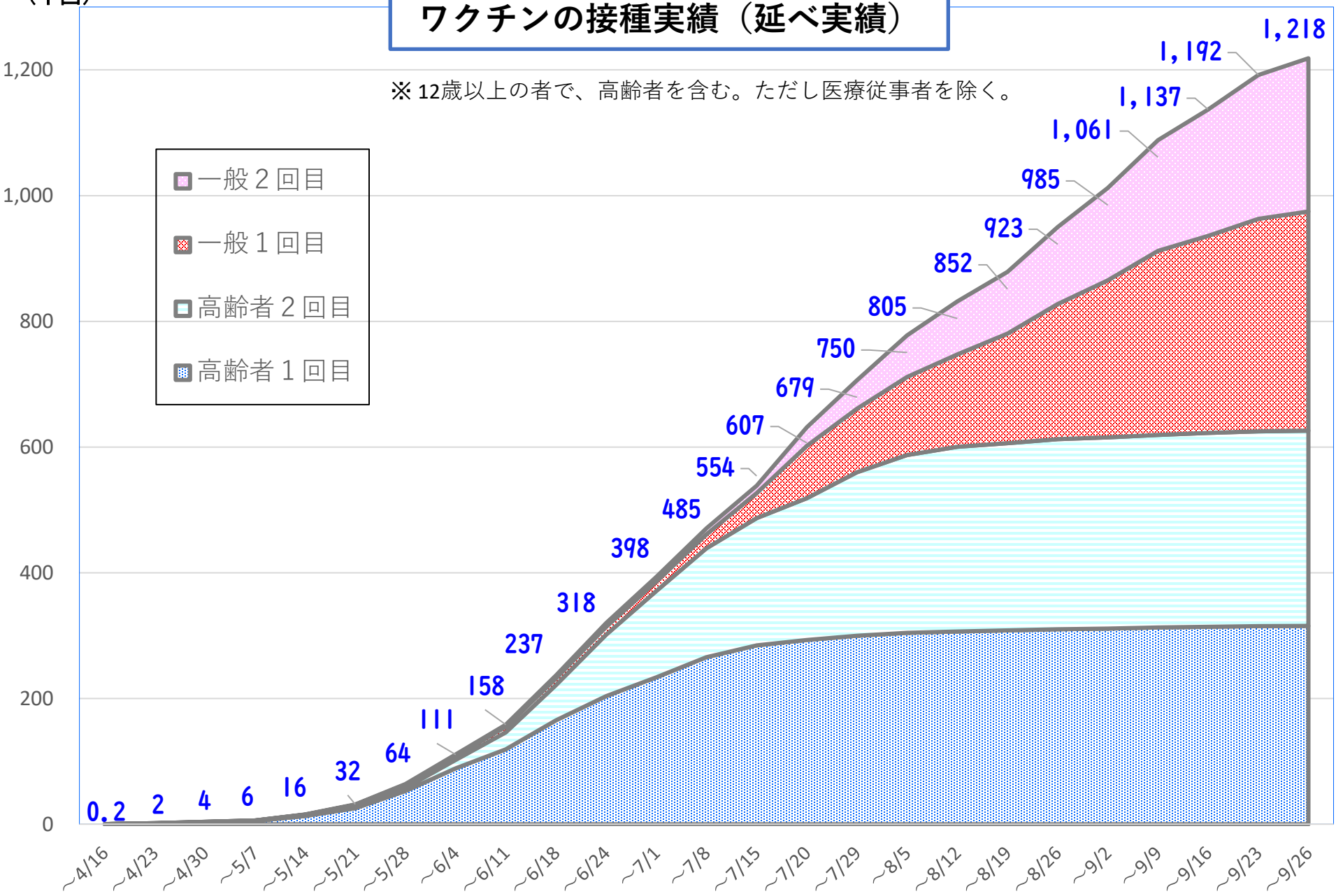
- ・若年層向けの接種の促進

(千回)

## ワクチンの接種実績（延べ実績）

※ 12歳以上の者で、高齢者を含む。ただし医療従事者を除く。

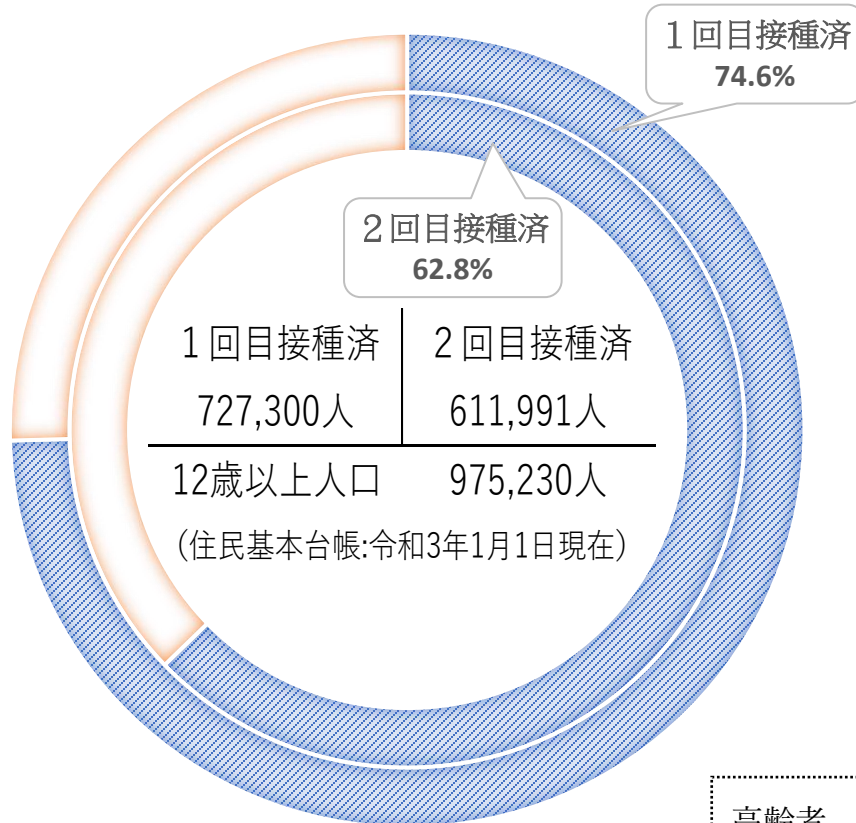
- 一般 2 回目
- 一般 1 回目
- 高齢者 2 回目
- 高齢者 1 回目



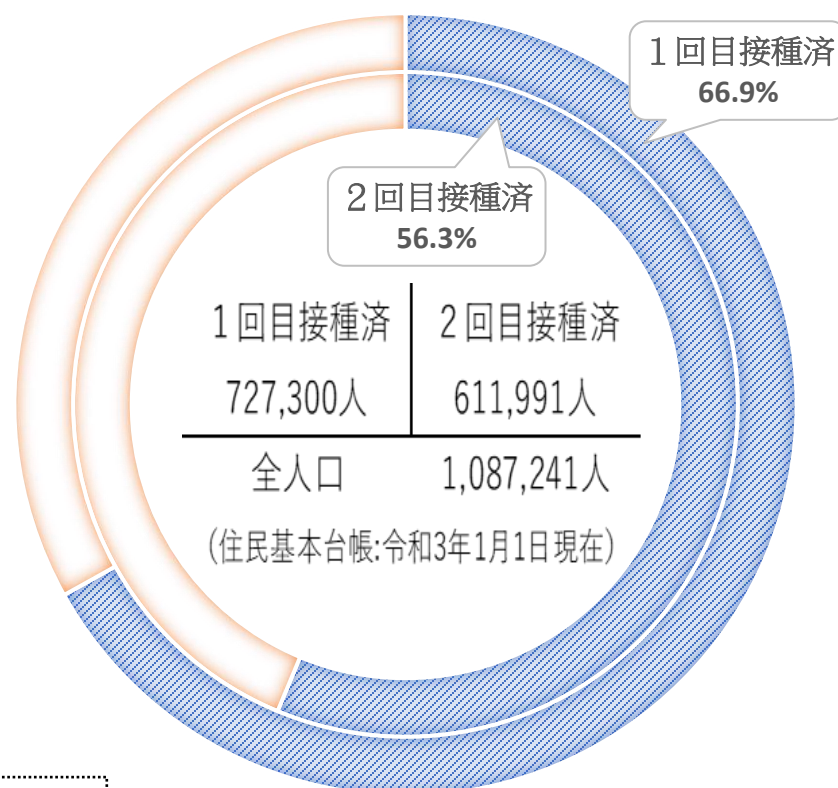


# 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について（9月26日現在）

## 全対象者接種状況

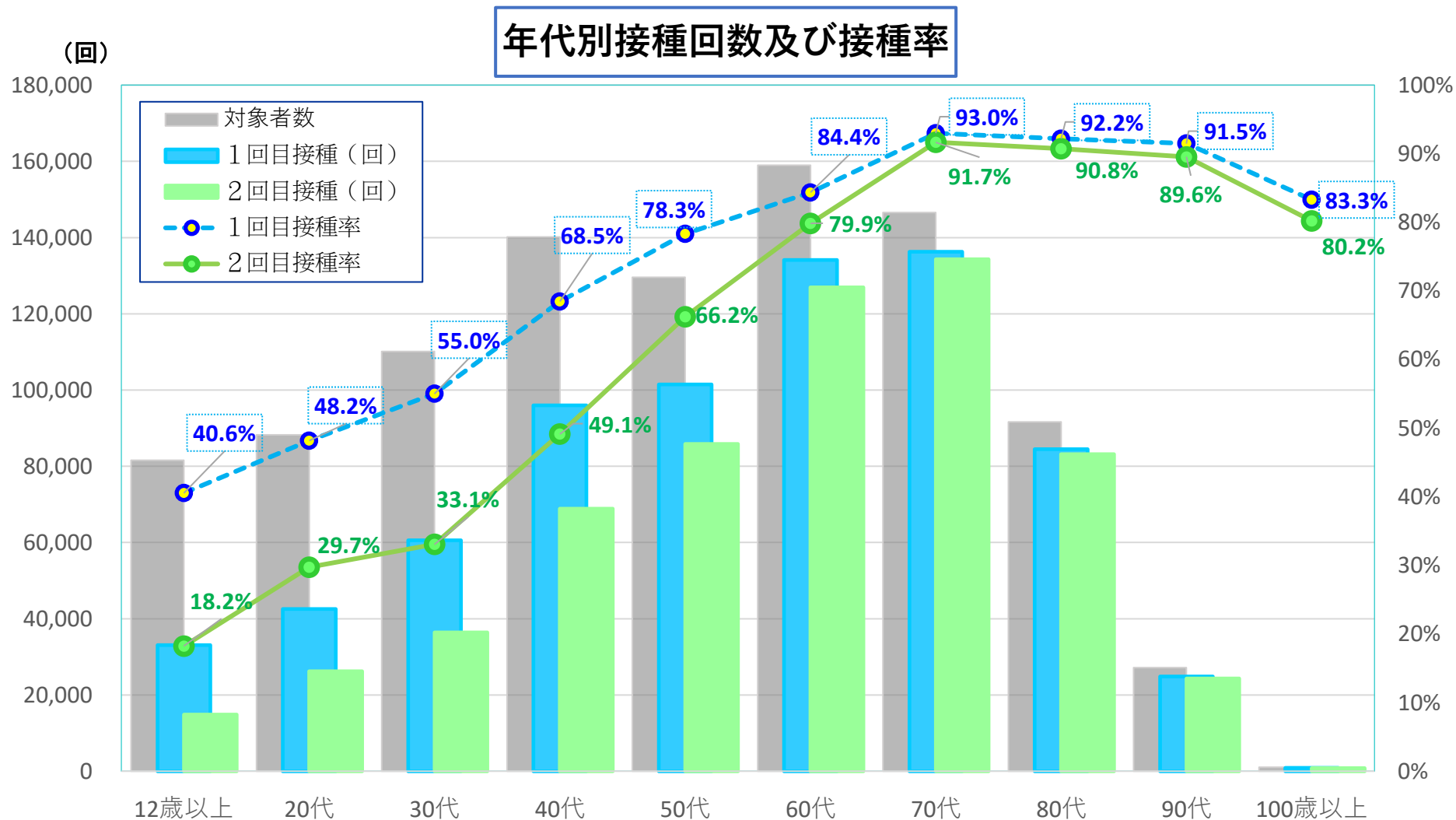


## 全県民の接種状況



高齢者  
医療従事者  
職域接種 } を含む

# 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について（9月26日現在）



※VRSにより集計（医療従事者を含む）。なお、年齢不詳者等の約4千回分は除く。

# 若年層向けの接種率向上に向けた対策の強化について

## 県における接種環境のさらなる充実

- 県の大規模集団接種における接種機会の確保 ※実績
  - ・接種対象者を12歳以上に拡大
  - ・妊婦及びそのパートナーの優先接種（予約不要）

## 啓発活動

- 若年層をターゲットとする啓発動画の配信の強化（テレビ、Twitter、LINE、Facebook、Instagram、TVer、大型ビジョン）
- ワクチンの効果・正しい情報に関するポスター・チラシを小・中・高等学校の全対象者に配布  
その他大学・専門学校への配布のほか関係団体等を通じての啓発
- コンビニエンスストアにおけるポスター・チラシの掲示

